



GRAND HOTEL EUROPE  
ST PETERSBURG

by ORIENT-EXPRESS

# グランド・ホテル・ヨーロッパ テラス付きジュニアスイートをリニューアル

2010年4月



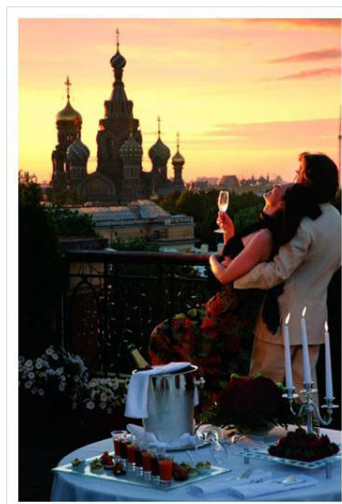
Санкт・ペテルブルクのグランド・ホテル・ヨーロッパでは、このほど改装工事を終え、17室の新しいテラス付きジュニアスイートをオープンいたします。 Санкт・ペテルブルクで見られる白夜の時期、最も人気があるこれらの部屋は、数々の伝説を誇るクリシャ・ボールルームの横、ホテルの最上階の5階に位置しています。 広々としたテラスから望む Санкт・ペテルブルクの素晴らしいパノラマ・ビューをご覧いただければ、なぜこの部屋の人気の高いのかを、すぐさまご理解いただけるでしょう。

テラス・ルームのレイアウト、スタイル、サイズ(28㎡~30㎡)はクラシック・ルームとほぼ同様に作られ、壁一面に広がる大きな窓と、素晴らしい眺めが一望できるテラスが部屋を広く感じさせています。 アーツ・スクエア(芸術広場)を見下ろす窓の部屋からは Санкт・ペテルブルクで最も見事な外観をもつハリストス復活大聖堂を望みます。 夏季と白夜の季節には、各部屋をつなぐテラスでくつろぎながら、ゆっくりと、この壮大な眺めをお楽しみいただけます。

このテラス・ルームには歴史に残る逸話があります。1908年、5階の上にマンサード(二重勾配)屋根を作り部屋数を増やす工事が行われることになり、エフロペイスカヤ(ヨーロッパ)・ホテルのファサードを拡張するこの計画は、皇帝にも承認され、1908年の8月15日に皇帝本人自らが工事の許可証に署名をしました。1909年、夏季のオープンテラスが自慢のレストラン「クリシャ」が完成し、「クリシャ」は Санкт・ペテルブルクで最高のレストランとして名を馳せ、ロシア帝国の首都を訪れた観光客は必ずここで食事をする・・・と言われる程の場所となりました。「クリシャ」で出される極上の料理はグルメ通の舌を魅了し、その多彩なメニューはいかなる目利きさえをもうならせる素晴らしさでした。また、レストランから一望できる市内の美しさも人気を博しました。詩人アレクサンダー・ブロークは1912年に「僕たちはエフロペイスカヤ・ホテルの屋根に上がって朝食を食べた。屋根の上は最高の場所だ・・・小さな道、花壇、そしてペテルスブルクを全て望むことができる。レストランから見るペテルスブルクはまるでパリのようだった。」と書いています。

テラス・ルームは1989年から1991年の改築、復元、拡張工事の間に、数々の受賞歴に輝く著名な建築家、ヴィクトリア・ストラッツマンが、かつての「クリシャ」レストランのテラス部分に造り、テラス・ルームの内部の改装プロジェクトは、昨年ホテルのヒストリック・フロアに造られた10室の個性的なヒストリック・スイートを手がけたフランスのデザイナー、ミシェル・ジュアネが監修しました。

「テラス・ルームはプライベートな邸宅をイメージしてデザインしました。」とジュアネは説明しています。同種類のカラスキーム(3つの調和する色)で飾られた部屋は、柔らかな照明の効果も相乗し、あたたかくゲストを迎える雰囲気を作りだしています。各部屋のベッドの高さは70cmで、低アレルゲンのマットレスを使用し、ヘッドボードは皮製を用い、昔のファッションに見られる襟やカフス部分には、デコラティブな結び目が飾られています。大きく、座り心地のよいアームチェアでは、快適な読書の時間を過ごせることでしょう。カーテンやクッションなどの室内装飾は、モスクワの歴史博物館で目にする19世紀のパターンを使用し、フランスのブランズウィック社製の生地を利用しています。



全ての部屋には26インチの液晶テレビを備え、家具やその他の装飾品は全て、グランド・ホテル・ヨーロッパのためだけに、サンクト・ペテルブルクの工場にてひとつひとつ丁寧に作られたものを使用しています。

部屋に飾られたサンクト・ペテルブルクを描写した絵画や版画(レプリカを使用)が、その部屋に伝統的な魅力や完璧な優雅さをもたらしています。全バスルームには彫刻の施されたフレームの大きな鏡があり、独特の雰囲気を演出しています。さらにフレームには彫刻を施したランプが付き、クラシカル・デザインの部屋を完成させています。

日本での予約・問い合わせ:  
オリेंट・エクスプレス

フリーダイヤル 00531-650-508 (一部のIP電話からは通話できません)

#### オリेंट・エクスプレスに関して

オリेंट・エクスプレス ( [www.orient-express.com](http://www.orient-express.com) ) の名称は、1983年に世界で最も贅沢でエキサイティングな列車の旅を提供した伝説の豪華列車が起源です。現在、オリेंट・エクスプレスは五大陸、25カ国で、ホテル、クルーズ、さらなる列車によるラグジュアリーな旅を提供しています。同社は1976年にイタリア、ベニスに伝説のホテル・チブリアーニを購入時に誕生し、その後ベニス・シンプロン・オリेंट・エクスプレスとしてロンドン、パリからベニスまで運行を開始し伝説の豪華列車の旅を蘇らせました。現在、オリेंट・エクスプレスは49に及ぶビジネスを展開しています。

所有、または一部所有し運営する39のホテルは、南アフリカ、ケープタウンのマウント・ネルソン、ブラジル、リオのコパカバーナ・パレス、ロシア、サンクトペテルブルグのグランド・ホテル・ヨーロッパ、メキシコ、リビエラマヤのマロマ・リゾート&スパなど、世界の名だたるコレクションです。また、ニューヨークの伝説的なレストラン「21」を含む2つのレストラン、2つのリバークルーズ、6つの列車を展開しています。

オリेंट・エクスプレスの詳細は、 [www.orient-express.co.jp](http://www.orient-express.co.jp) でご覧いただけます。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、  
オリेंट・エクスプレス PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。

: 03-3403-5328 / e-mail: [info@kentosnetwork.co.jp](mailto:info@kentosnetwork.co.jp)

<http://www.kentosnetwork.co.jp>

